

平成 28 年度第 1 回北広島市図書館協議会議事録

開催日 平成 29 年 2 月 16 日(木)

開催時間 午後 7 時から

開催場所 図書館 2 階 AV サロン

【開会：丸毛館長】

ただ今より、平成 28 年度第 1 回北広島市図書館協議会を開催いたします。

本日は、委員 10 名の出席ですので、規定の過半数を超えており、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

今回は委員の改選が行われて初めての会ですので、役員の選任議事の進行を、会長が決まるまで、私の方でさせていただきます。会議次第に従いまして進めさせていただきます。それでは簡単に自己紹介をお願いいたします。

【自己紹介】

工藤委員 岡元委員 石上委員 穴澤委員 北川委員 舟橋委員 坂口委員 正木委員
名越委員 廣田委員

続きまして、職員の自己紹介をさせていただきます。

大久保主事 長岡主任 蛸名主査 丸毛館長

【役員の選任】

次に図書館条例第 10 条第 1 項に基づき、会長・副会長の選任を行いたいと思います。

条例により、委員の互選において、会長は舟橋委員、副会長は北川委員に決定した。

では、会長・副会長が決まりましたので、ここからの議事進行を会長をお願いいたします。

【舟橋会長】

それでは会議次第に従いまして議事を進めさせていただきます。4 の報告案件から務めさせていただきます。(1)平成 28 年度北広島市図書館利用状況から事務局の報告をお願いいたします。

【事務局:蛸名司書】

(1)平成 28 年度図書館利用状況について説明いたします。2 ページ目をご覧ください。

(1)貸出の状況についてです。上の方には、過去の図書館の利用状況も掲載しておりますが、平成 28 年度につきましては、年度途中であるため、4 月から 1 月までの数字を記載しています。また、昨年度との比較参考を 1 ページの下にのせております。

市の人口が 190 人減少に対して、貸出数は全館で 14,228 冊減少しています。館別では、ほとんどの館が貸出数が減少傾向にあるにもかかわらず、西の里公民館図書室と住民センター図書室の貸出は増加しています。全体的には 27 年度は増加傾向にありましたが、今年度は 26 年度とほぼ同じぐらいの利用となっています。動きとしては、年度末まであと 2 カ月ありますので、最終的にはどのような結果になるか未定ですが、一人当たりの貸出数は変わらず 8 冊以上となる見込みです。

次に 3 ページ目の「2.AV コーナーの利用状況」についてですが、上映会の入場者数は昨年と同期間の比較で 26 人増加しています。先ほどお話した貸出数が減っているにもかかわらず、2 階の映像ブースや上映会は利用人数が増加しています。

AV ブースの利用、インターネット端末の利用は変わらず、絶え間なく利用されている状況が見られます。上映会の参加人数は、高い年代の利用が全体の利用が多くなっていると考えられ、1 日あたり 50 名近くの方が訪れているようで、利用者の定着が見られます。

続きまして、4 ページ目になります。「3.予約処理の状況」についてですが、27 年度の合計は 59,318 件でした。今年度は 60,000 件を超えるものと思われます。

予約件数は、年々多くなっており、なかでも web・携帯電話からの予約件数は、全体の 4 割となっています。いつでも、どこでも蔵書を調べることができ、予約できることの利便さが予約が増えている数に表れているようです。

また、6 ページ目をご覧ください。地区別の予約件数を月ごとに表したものになります。地区によっても、受付方法は様々で、大曲と西の里の予約の半分は携帯を含め Web 予約ですが、住民センターや移動図書館車では、高齢者が多いため約 7 割は、窓口での職員による予約となっています。

次に、4 ページ目から 5 ページ目の「5.その他の活動」について、一部ですが 3 つほどご紹介します。

1 つめは、9 月 1 日～10 月 2 日までの期間、図書館入り口の休憩コーナーで「市制施行 20 年展示」を行いました。平成 8 年に広島町から北広島市になった北広島当時の資料やモノなどを展示しました。

5 ページ目に移ります。2 つめは、図書館が平成 10 年 10 月の開館からの入館者が通算して、500 万人目の入館者を達成しました。10 月 15 日（日）に第 37 回読書まつりが開催されているなか、オープン当時には中学生だった女性が 1 歳のお子さんを連れた利用者が該当になりました。お父さんも含め、家族で図書館を利用してくださっているようです。後日、10 月 22 日に記念品と図書カードの贈呈セレモニーを行いました。

3 つめは、定期的に一般書・児童書特集を行っています。人気の特集として、今年度も図書館スタッフおすすめ本特集を 10 月から 12 月にかけて 2 カ月ほど行いました。昨年も担当職員の手書き POP による本を紹介していましたが、今年は本を紹介する職員自身が本の紹介まで作成しました。

本は貸出中で、POP のみが残る状況が見られました。個性ある POP を眺めるだけでも楽し

いという状況で、大変好評でした。現在は、地区図書室の特集として巡回しています。

今後も、年に一度程度、継続していきたいと考えております。

展示や特集については、今後も関係機関や歳時記、旬のテーマなどを取り上げて、行っていきたいと考えております。図書館の報告につきましては、以上です。

【舟橋会長】

ただ今、事務局より平成 28 年度北広島市図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し質問や意見等がございましたら、よろしくお願いいいたします。

少し意見が出にくいようですので、まず私から質問です。貸出の状況で全体的に昨年比の利用状況がマイナスですが、高齢化等の影響は考えられますか。

【事務局：蛭名主査】

朝早くから高齢者の方が新聞の利用など、本を借りない利用が多いと感じます。

【正木委員】

来館者数のカウントはどのように行っていますか。また、貸出冊数は減っているが、来館者数は増えていたりしませんか。

【事務局：蛭名主査】

入口に赤外線による、入館者カウンターがあり、通ることで入館者数をカウントしています。次の貸出冊数ですが、ホールのイベントがあるときや、テスト前で学生の利用が増えたときなど、そういったときに、本の利用はしないが来館者が増えているように感じます。

【北川副会長】

説明にありました「図書館スタッフおすすめ本」は私自身も見ましたが、すごくよかったので、どんどん続けてほしいです。手づくりのポップなどは司書さんとのコミュニケーションができて、温かい気持ちになります。

【事務局：蛭名主査】

当館では開館当初からコミュニケーションを大事にしてきており、自動貸出機を導入せず、手渡しで本を渡しているのので、そういったところを大事に継続していきたいです。

【岡元委員】

私はボランティアでおはなし会の活動しているのですが、ちょうど今日のお話で、活動の中できつねの本でいいものがないか窓口で検索をお願いしました。すぐに 4 冊の本を選

んでくださり、メンバー一同でその対応の早さに感心しています。

【正木委員】

宅配サービスで図書館さんが本を届けてくれるが、リクエストの対応など、素早く行ってきています。そこで質問ですが、毎月あるいは毎年でいくら購入するかなどのリクエスト本の購入の決まりなどはありますか。

【事務局：蛭名主査】

決まりはありませんが、宅配本のリクエストについてはすぐに発注して、なるべく早くお届けできるよう心がけています。

【名越委員】

希望が多い本では50人程度予約が集まったりしているが、そういった本の対応はどういう風に行っていますか。

【事務局：蛭名主査】

当館では8人待ちを目処にもう一冊を増やし、各分館1冊ずつの最大6冊で人気本を回している状態です。なかには100名を超えることもあるので、なるべく早くお渡しできるように対応しております。

【舟橋会長】

そのほかに意見等ないようですので、(2)の平成28年度学校図書館利用状況について事務局から説明をお願いします。

【事務局：長岡主任】

7ページの平成28年度学校図書館利用状況は、市内の小中学校の学校図書館で貸出された冊数を年度別・学校別にまとめた表です。上の表が小学校・下の表が中学校です。小中学校ともに、全体の貸出冊数が昨年27年度と比較して増加しています。

小学校については、各校が独自の取組みで読書活動を積極的にされていたことが窺えます。中学校については、各校の取組みと学校司書が配置されたことにより、生徒個人の貸出だけでなく、先生方が図書室や資料を活用して授業をされる機会が徐々に増加していることで貸出数が伸びていると思われます。

次に、8ページの平成28年度学校図書センターの取組みについて説明いたします。

学校図書センターの取組みとして主なものを4つ報告させていただきます。

まず1つ目の中学校への学校司書配置についてです。平成26年6月から中学校に3名の学校司書を配置し、1人が2校を担当し、隔週で各校に巡回して勤務をしています。

(1)の中学校の学校図書館の状況は、学校別にまとめています。今年度は、授業での資料利用の依頼が増えています。また、図書室常連の生徒たちは新刊の図書が入ってくることを楽しみに待っているようです。

(2)今後の課題としましては、3つあります。教員への授業利用のPRです。読書のための本を借りるだけでなく、授業に必要な資料を学校図書館だけでなく、公共図書館からも借りて提供ができることなど、学校司書がいることで、できることをよりPRしていくために、学校図書センター通信を発行することとなりました。詳細はのちほどご説明します。貸出につながるような取り組みですが、図書担当の先生や委員の生徒たちと相談しながら学校図書予算で購入する新刊図書の選書や図書室のお知らせの掲示、それから定期的に特集コーナーをつくり、生徒たちが本を読みたくなるように取り組んでいます。資料更新については、毎年の図書予算で必要な図書を購入し随時更新をしています。

次に、2つ目の幼児読書活動推進事業「小豆」の参加園拡大についてです。

「小豆」とは、平成22年に始まった市内の保育園・幼稚園に年2回、絵本と紙芝居を巡回させる事業のことです。しばらく参加園が4園のまま巡回してきましたが、今年度、参加していない園に対し、改めて希望調査を行ったところ、10園の参加希望がありました。その中で2園については、今年度11月から参加しています。平成29年度5月からは、14園での巡回が始まる予定です。

次に3つ目については9ページになります。学校図書センター通信について説明いたします。先ほど、中学校への学校司書配置の今後の課題として、教員への授業利用PRで通信を発行していることをお伝えしましたが、今年度から、小・中学校の各教員向けに、年2回学校図書センター通信を発行することとなりました。児童・生徒と教員が、学校図書館をより活用していけるよう、取り組みの参考になるような読書活動や授業に活用できる学校図書館・公共図書館の利用方法をお知らせしていきます。会議資料に載せているのは11月に発行した第1号です。1号では、学校図書センターの役割についてと児童・生徒に図書室や読書に興味を持ってもらうには、学校図書館の利用方法についてのオリエンテーションを行うことが大事であることを記載しました。第2号については、現在作成中で、年度内に発行予定です。

最後に4つ目、児童図書学校巡回事業「豆次郎」利用数調査についてです。

まず、豆次郎とは、木箱1台につき35冊の児童書が入っていて、その箱を各クラスに1台または2台ずつ配置し、一か月ごとに隣のクラスに移動させ、夏・冬・春休みに入る と学校間移動させ、次の学校に届けて市内の小学校をぐるぐる巡回させています。

豆次郎は平成14年に始まりましたが、どのくらい利用されているか調査するのは、今回が初めてでした。小学校の先生方の協力のもと、調査を始めたのが27年度の1学期からで、今年度の1学期まで全4回行いました。1回目の27年度1学期の調査では、学級ごとにどのくらい利用されているかの調査を行いました。2回目からは、豆次郎の図書1冊ずつに読んだら を書いてもらう調査票を貼り付け、本ごとの利用数調査を行いました。この本ご

との利用数調査は、27年度の2学期・3学期、今年度の1学期まで行いました。この資料に載せているのは、本ごとの利用数調査3回分です。豆次郎の調査を行い、今後の課題として(4)にあげていますが、現在の学級数・児童数に合わせた配置台数にすることや、資料の内容について特に高学年は、じっくりと味わう厚い読み物より、短い休み時間の中で読みやすい図書も増やすなどの見直しが必要だとわかりましたので、現在、少しずつ改善しています。小学校につきましては、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。学校への利用数調査の報告については、遅くなりましたが、近く各学校ごとにお知らせする予定です。

学校図書館については以上になります。

【舟橋会長】

平成28年度学校図書利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し質問や意見等がありますか。

【工藤委員】

北の台小学校は貸出冊数の伸びの要因は大規模改修で建物がきれいになって、図書館に来る子が増えたことも考えられますが、それ以外の要因は考えられますか。

【事務局：長岡主任】

この北の台小学校は元々、本をたくさん読む学校であると思いますが、5分間などの休み時間での利用や、図書委員や先生がいなくても自分達で借りることができる所が要因であると考えられます。

【岡元委員】

今日、北の台小学校に行ってきましたが、きちんと子どもたちが自分達で機器を使っている様子が伺えました。

【名越委員】

豆次郎は本を持ち帰れたりキープできないが、図書室の本は自分の本として、机の中で保管したり、持ち帰ったりできるので、借りることにつながっていると思います。

【舟橋会長】

そのほかに意見等ないようですので、(3)の平成29年度予算案の概要について事務局から説明をお願いします。

【事務局：大久保主事】

平成 29 年度北広島市図書館及び学校図書センターの予算案概要を説明いたします。

まず始めに、この予算案の概要は、今後、平成 29 年第 1 回議会の議決を受けて平成 29 年度予算として決定されることとなります。現段階での予算案であることをご承知置き下さい。

それでは、図書館に関する予算案を説明させていただきます。

報酬は、図書館協議会委員と非常勤職員の報酬で、増減理由は、平成 29 年度から非常勤職員が新たに任用されるため、その分の増額となります。

共済費は、非常勤職員の社会保険料の費用となります。

報償費につきましては図書館利用モニターへの謝礼金で、こちらも前年度から増減はありません。

図書館利用モニターとは、図書館サービスの資質向上を図るための外部評価システムとして、モニター 2 名を委嘱し、分館を含む図書館を利用・巡回し、定められたチェックシートを基に日常業務を検証していくもので、調査は匿名で行われます。

旅費については、本会議に関する旅費と、職員の旅費となっております。

需用費につきましては、主に本館と 4 地区館の図書購入費です。

役務費は、郵便料、道新記事、官報等のデータベース利用料です。増額理由は、郵便料が値上げするためです。

委託費は、主なものとして図書館窓口等の業務委託費になります。

使用料及び賃借料については、図書館システムなどに関する借上料です。

備品購入費につきましては、平成 29 年度では予算配当はありません。

負担金補助及び交付金ですが、交付金に関しては市民との協働による図書館運営を進めるための、北広島市図書館フィールドネットへの交付金になります。負担金としては、日本図書館協会、北海道図書館振興協議会、石狩管内図書館協議会の会費となります。

公課費についてですが、移動図書館車の重量税となっており、前年度から増減はありません。

合計すると、平成 29 年度の図書館運営経費は 94,701 千円となります。

続きまして、学校図書センターに関する予算案を説明いたします。

需用費は、小・中学校の図書購入費と、学校図書室の新聞購入費などです。

役務費は、学校巡回図書「豆次郎」の運搬費用で、年 3 回実施いたします。

委託費は、学校図書センター運営業務と学校図書館支援業務の委託費であり、学校図書センターの委託職員 1 名と学校司書 3 名となっております。

使用料及び賃借料は、学校図書ネットワークシステムなどの借上で、前年度との増減はありません。

合計すると、平成 29 年度学校図書館センター予算名は 16,712 千円となります。

【舟橋会長】

ただ今、事務局より報告がありましたが、以上の説明に対し質問や意見等がございましたら、よろしくお願いいたします。

【閉会：舟橋会長】

他に何かご質問等がありますか。無いようですので、以上で議事は全て終了になります。以上をもちまして、平成 28 年度第 1 回北広島市図書館協議会を閉会させていただきます。